

日 時：令和5年8月3日(木) 14:00~16:00

場 所：市民文化センター 第1練習室

資 料：次第、資料1-1、資料1-2、
資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料3

1 開会

2 議事

人口ビジョン・総合戦略の概要

事務局より、資料1-1、1-2について説明

令和4年度の実績評価

事務局より、4つの基本目標（資料2-1、2-2、2-3）、デジタル田園都市国家構想交付金（資料3）について説明

【基本目標1に対する委員からの意見の概要】

- ・ 沼津市への企業進出の実績はどのようなものか。
→ （政策企画課：回答）本市への企業進出は、令和3年度に9件、令和4年度に4件あるが、その内訳は、製造業7件、IT企業4件、建設業等2件である。

- ・ 事業所数は、減少してD評価となっているが、事業所数は人口と同じで減少傾向にある。その傾向に対して、沼津市はどうか、また、地方という観点から、沼津市の数値が良いのか悪いのか、そのような観点から、施策が効いて減少を食い止めているのか検証をすることもよろしいかと思う。基準値を下回ってはいるが、それとは別の見方でどうか。
→ （政策企画課：回答）事業所数は、県全体において減少がみられ、他市も総じて減少傾向にある。本市では、県全体の減少率よりも低く、近隣市の三島市、裾野市と比較しても減少率は低い状況にある。

- ・ 起業創業支援について、創業件数は増加しているが、創業後の支援や状況確認についてはどうか。
→ （政策企画課：回答）創業後の支援としては、経営支援コーディネーターによる相談窓口の設置や支援機関と連携した『経営なんでも相談会』の開催など、様々な経営課題の解決に向けた支援に加え、新商品開発や販路拡大への支援を行い、事業拡大に向けた支援なども行っているところである。そして、事業所の訪問などにより雇用者数や経営状況を調査するなど、立地後の状況を確認している。

- ・ 事業所数について、基準値からは減少しているが、増減の内訳はどうなっているかといったデータがあると、沼津市がどう頑張っているか、指標として分かりやすいと思う。
- ・ 事業所数は減ってもよいという考え方もある。新規で何件、3年以上で何件という考え方もある。今の指標は、総戦略策定時における国が定めた指標でもある。

【基本目標2に対する委員からの意見の概要】

- ・ 事務局から説明のあったように、まだまだコロナの影響が残っていたことと思う。インバウンドが見込まれる中で、市のどんな施策が想定されているか。
- （政策企画課：回答）これまでのコロナ禍においても、新型コロナウイルス感染症が収束した際に旅行先として本市を選択してもらえよう、外国語SNSなどを活用して本市観光関連情報を絶え間なく提供してきたところである。令和4年10月から新型コロナウイルス感染症の水際対策が大幅に緩和されたことにより、本市においても外国人観光客は徐々に戻っており、引続き様々な媒体を活用した情報発信を行い、本市の持つ魅力を訴求するとともに、本年度、外国人向け携帯用観光パンフレットの制作など、受入環境整備にも取り組んでいく。
- また、本格的なインバウンド推進のため、広域連携によるプロモーション等の再開に向けた調整を進めていく。
- ・ 中心市街地における居住人口が示されているが、郊外ではどうか。また、中心市街地を魅力的に創っていくための指標があると良いと思う。
- （政策企画課：回答）戸田地区では、昨年度の転入者は78人で増加傾向にあるが、転出者は91人いる。
- ・ 岡宮や大岡では居住者が増えているように感じるがどうか。
- （政策企画課：回答）岡宮では、令和7年度の居住者目標を2,358人としている。令和2年度では1,788人であったが、昨年度は1,878人に増加した。
- ・ 戸田地区からの転出者の年齢層はどのようなものか。
- （政策企画課：回答）30代で多く見られる。
- ・ 戸田地区では子どもの高等学校進学時に転出するケースがあると聞くがそうなのか。
- （政策企画課：回答）戸田地区には高等学校がないので、そのタイミングで転出するケースもあると聞く。

【基本目標3に対する委員からの意見の概要】

- ・ 出生数や子育て世帯数の目標設定は良いことであるが、基本目標が「希望をかなえる」とあるので、子育てしやすい環境にあると感じている市民の割合を基本目標とすることが良いと思う。実際に満足度も高いようなので、その強みを生かしてほしい。
- ・ 子育てというと長泉町が思い浮かぶが、沼津市も良いという話も聞くので、自信を持って発信していったら良いと思う。

【基本目標4に対する委員からの意見の概要】

- ・ 自治会連合会では、災害、安全、コミュニティ、環境の4部会で活動しており、その中で上がったことなどを毎年市長に報告している。
- ・ 床上浸水被害想定件数の削減について、19件とは、市管轄の河川か。
→ （政策企画課：回答）「総合的治水対策整備事業」の成果指標として定めている「浸水被害想定件数の削減」の床上浸水被害想定件数19件は、実績値ではなく、第5次沼津市総合計画策定時に定めた目標値（令和3年当時の各計画の目標設定）に対して、常襲浸水地域の大平地区と青野地区の被害想定件数の進捗管理を実施しているものである。近年の局地的な集中豪雨当により、頻発している原西部地区については、今年度、気候変動の影響や社会状況の変化を考慮した「流域治水」の考えのもと新たに、沼川（高橋川）水災害対策プランを策定している。今後公表をする予定ですが、この中では短期目標として、近年最大の被害のあった令和3年7月洪水に対して目標設定を行い各メニューの策定をしている。
なお、本件数は、国、県、市で行うプランになるので、管轄区別なく計上している数値である。
- ・ 近年は災害が多いので、市民を守るための支援等をもっとしてもらえるとありがたいと思う。
- ・ 県と市で引続き連携しながら地域住民の安心と安全を確保していく。
- ・ 地域別災害避難行動作成率とは、周知率ではないか。
→ （政策企画課：回答）あくまで作成率である。
- ・ 学校の登下校時にどうするか等は見落としがちであるので注意されたい。
- ・ 特定地域における希少種の減少率について、数値として何か残せるように見通しを立てた方が良いと思う。

【委員会全体に対する委員からの意見の概要】

- ・ 文化に関する項目が少なく思うので、設定してみてはどうか。

 - ・ デジタル田園都市国家構想実現のための総合戦略の改訂について、沼津市はどうするのか。
- （政策企画課：回答）ただいま検討中である。今後改訂する際には委員会の場でご意見をいただければと思う。
- ・ 達成できている項目や達成ができなそうな項目の見直しもしてみてはどうか。

3 閉会